

見る・知る・補う 「気づき」で防ごう 熱中症

背景(課題・ニーズ)

当社の作業は屋内が多く、ほとんどの事業所では倉庫にもエアコンが設置されていますが、近年の猛暑は屋内作業だからと油断できない状況です。また事務職を含む全従業員に、熱中症について正しい意識、知識を持ち、気づきを得てもらう必要性が高まっています。当社では「見る」「知る」「補う」をテーマに、熱中症対策を実施しています。主な取り組みをご紹介します。

取組内容

- ・ 暑さ指数予測メール(毎朝)
- ・ 暑さ指数の掲示
- ・ 暑さ指数計設置

- ・ 安全衛生委員会からの情報発信
- ・ 危険予知トレーニングの実施

- ・ 熱中症対策用グッズ配付
- ・ 自動販売機飲料値下げ(50円)

やってみての効果

暑さ指数の掲示やメールはわかりやすいと社内です。自販機値下げにより、水分補給の重要性の認識が事務職にも広がりました。今年、通常作業での熱中症はゼロでした。

今後の目標・展望

新たな熱中症対策グッズが次々出てくるので、導入し効果検証していきます。今後は「知る」を重視した活動をさらに展開していく予定です。